

### 3. 環境研が発行してきた刊行物

環境科学技術研究所では、これまで、法人として、また受託事業の一つとして各種刊行物を発行してきた。前者は当所の活動記録や活動内容の記録、広報用資料として発行してきた年報や年史、環境研ニュース、環境研パンフレット、後者は国や青森県からの委託事業の発行物であるパンフレット（原子力と環境のかかわり、放射線の基礎知識）やリーフレット（環境研ミニ百科、ハイパーインフォ、サイエンスノート）などが挙げられる。この項では、これら発行物について振り返る。

#### 3.1 環境科学技術研究所年報及び年史

当所の調査研究や広報活動、その他の様々な事項についての活動の記録として、平成7年度から年報（写真1）を発行してきた。年報は所内に設置された広報・連絡委員会（現共創推進委員会）が中心となって制作を行っている。配布先は青森県や国、関連機関、賛助会員などであり、またISSN番号も取得しており、国会図書館への登録、送付を行っている。また、平成2年に設立後、五年史、十年史（写真1）の発行を行い、それぞれの時点までの活動の記録として総括を行った。



写真1 年報（上段）と五年史、十年史

#### 3.2 環境研ニュース（IES News Letter）

当所の調査研究に関連する活動状況や所内での様々な出来事などのトピックスをまとめた環境研ニュース（写真2）を平成4年度から凡そ年4回のペースで継続的に発行してきた。また、令和元年度からはIES News Letter（写真2）と改称し、一般の方が手に取って短時間で読めるA4サイズ1枚のものとするとしてリニ

ューアルを図った。昨今の潮流としてペーパーレス化が進んでいることもあり、ホームページトピックスの更新頻度を上げるなど、紙媒体以外の取り組みにも注力しており、発行の在り方についての議論を行っており、過渡期を迎えている。



写真2 環境研ニュース及びIES News Letter

#### 3.3 環境研パンフレット

当所の成り立ちや事業内容等の説明に用いるパンフレット（事業要覧、写真3）を平成3年から作成し、組織変更や事業内容の変遷とともに、適宜、改訂を行ってきた。大きな改訂があった時期としては、先端分子生物科学研究センターの設立が決定した平成14年度、公益財団法人化並びに環境動態研究部及び環境シミュレーション研究部の合併があった平成24年度、共創センター及びトリチウム研究センターが設置された令和4年度が挙げられる。



写真3 環境研パンフレット  
（上段左上から下段右下への順番で変遷）

### 3.4 受託事業説明用パンフレット

当所では国から受託した原子力に関する普及啓発に関する事業を実施していた。その事業の一環として平成7年に放射線の性質や環境放射線や放射線の生体影響、原子力施設に関する基礎知識などの情報をまとめた「原子力と環境のかかわり」パンフレット(写真4)を発行し、その後継続して改訂、発行を行った。また、平成19年から始まった青森県から受託した情報発信活動において、それら基礎知識に加えて環境研が進めてきた調査研究の成果も含んだ内容の「放射線の基礎知識」にリニューアルし、現在でも改訂を重ねて発行している。これら資料は、住民への説明会でのテキストや補助資料として活用している



写真4 事業説明用パンフレット

### 3.5 受託事業説明用リーフレットとミニパンフレット

身近な事柄に対する素朴な問い「なぜ？」に応える資料として、環境研ミニ百科(写真5)が平成7年3月に国からの受託事業に係る発行物の一つとして創刊された。平成7~19年度にかけて、毎年凡そ10号程度ずつ、身近な科学に関する内容を中心にA4サイズ1枚両面のボリュームで平成第133号まで発行した。

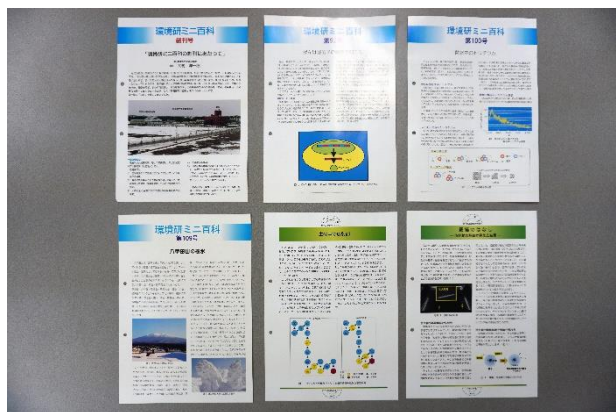


写真5 環境研ミニ百科

また、平成13年度からは原子力、放射線、科学一般、環境研の活動やデータ等に関わる事柄をイラストなどの比率を上げ、4ページの構成でより分かりやすく説明をするサイエンスノート(写真6)を新たに創刊した。本資料も平成19年度第29号まで発行し、主に出前説明会や対話集会用の資料として活用した。



写真6 サイエンスノート

更に平成24年度からは、排出放射性物質影響調査に係る放射線や放射性物質に関する基礎的な話、調査研究で使われている施設・設備・実験手法などの紹介、調査研究の成果などを簡潔にまとめて説明するリーフレットを創刊した。なるべく親しみやすい資料となる様、「はいほーっ!いんふお」と名付け、A4サイズ両面で表面は概要や調査内容等を簡単にまとめたものとし、裏面に更に詳しい情報を記載する形式としている(写真7)。なお、環境研のこと、環境と自然、健康と生活、放射線のはなし、の4つの分類で発行しており、これまで28種類の資料を作成してきた。

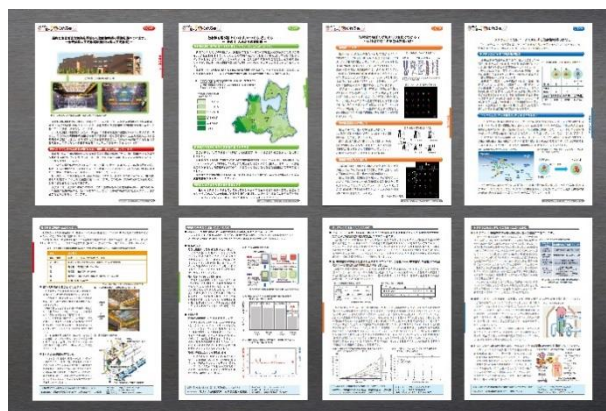


写真7 はいほーっ!いんふお

今後も、当所の活動内容や調査研究内容の理解がより深まるような資料を作成していく予定である。